

令和3年度 下水道事業会計決算概要

生活環境の向上や河川等公共用水域の水質保全を図るための汚水対策事業、並びに雨水の排除による浸水の防除を行う雨水対策事業を、計画的に実施しました。

なお、経営成績並びに財政状態を明らかにすることを目的として、企業会計方式の経理方法により、管理運営に関するもの（収益的収支）と施設の建設に関するもの（資本的収支）に区分しています。

1. 経営成績について

営業損失 2,675,010,684円、経常利益1,461,306,340円、当年度純利益1,457,744,623円となりました。

2. 財政状態について

令和3年度末における財政状態は、資産の部合計234,854,549,310円、負債の部合計 170,017,406,259円、資本の部合計 64,837,143,051円となりました。

3. 建設改良事業について

令和2年度を初年度とする四日市市総合計画に基づき、汚水の処理区域の拡大並びに雨水の浸水対策等下水道施設の整備拡充を図りました。

- ・雨池ポンプ場耐震補強工事
- ・茂福ポンプ場電気設備更新工事
- ・波木汚水中継ポンプ場下部土木工事
- ・日永浄化センター第3系統管路耐震補強工事 等

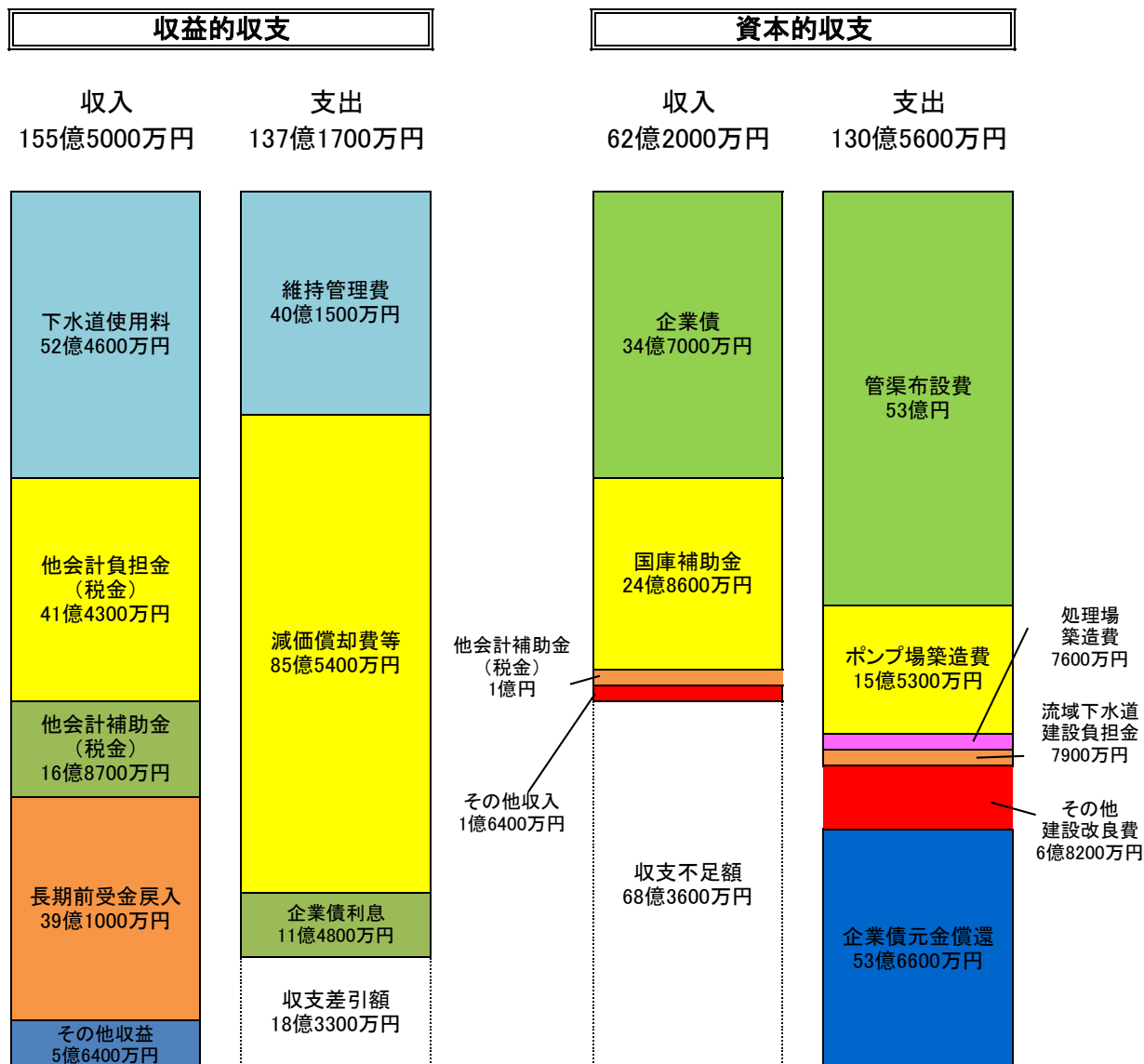
4. 普及状況

令和4年3月31日現在

項 目		令和3年度	令和2年度	差引増減
行政区域内人口 A	人	309,338	310,610	△ 1,272
処理区域面積	ha	4,834.7	4,783.2	51.5
処理区域内戸数 B	戸	116,808	114,618	2,190
処理区域内人口 C	人	249,091	248,436	655
水洗化戸数 D	戸	109,686	107,225	2,461
水洗化人口 E	人	233,574	232,126	1,448
人口普及率 C / A	%	80.5	80.0	0.5
水洗化普及率 D / B	%	93.9	93.5	0.4
水洗化率 E / C	%	93.8	93.4	0.4
供用1年後の水洗化率	%	94.0	94.3	△ 0.3
有収水量	m ³	25,512,200	25,630,410	△ 118,210
雨水排水整備済面積	ha	2,920.0	2,916.0	4.0

5. 財政状況

※税込



《収益的収支》

収入 管理運営経費の財源である収益的収入は、下水道を利用される皆様にご負担いただく下水道使用料が34%、雨水の排除や浸水の防除のために一般会計から受け入れる他会計負担金（税金）が27%、汚水処理の経費のうち一般会計負担となる他会計補助金（税金）が11%、施設等を建設する際に過去に受け入れた国庫補助金等の減価償却費相当分である長期前受金戻入が25%となっています。

支出 施設・設備の維持管理費29%、減価償却費等63%、企業債の利息8%という構成比になっています。

《資本的収支》

収入 資本的収入は、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金の財源です。その内訳は企業債が56%、国庫補助金等が40%、汚水処理にかかる他会計補助金（税金）が2%、その他（受益者負担金等）が2%となっています。

支出 管渠、ポンプ場、処理場などの建設・改良の費用等が59%、企業債の元金償還が41%となっています。なお、収支不足額は、前年度の利益や減価償却費などで補填しています。

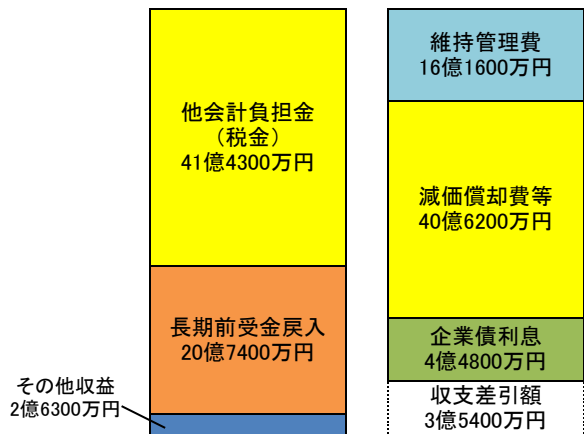
財政状況を雨水・汚水別にすると以下の通りです。

雨水

※税込

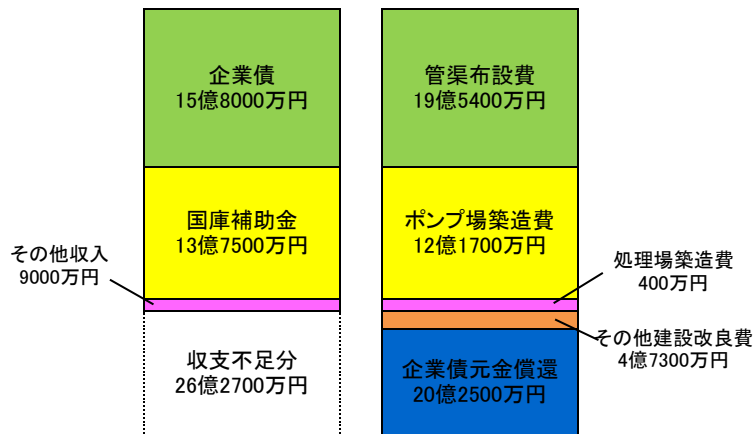
収益的収支

収入 64億8000万円
支出 61億2600万円



資本的収支

収入 30億4500万円
支出 56億7300万円

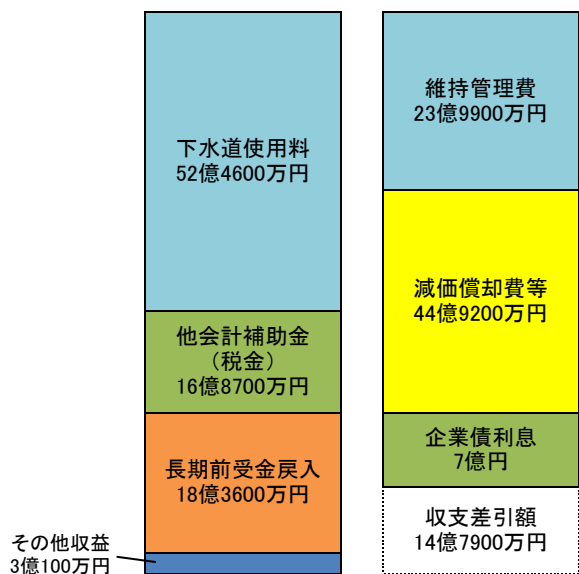


汚水

※税込

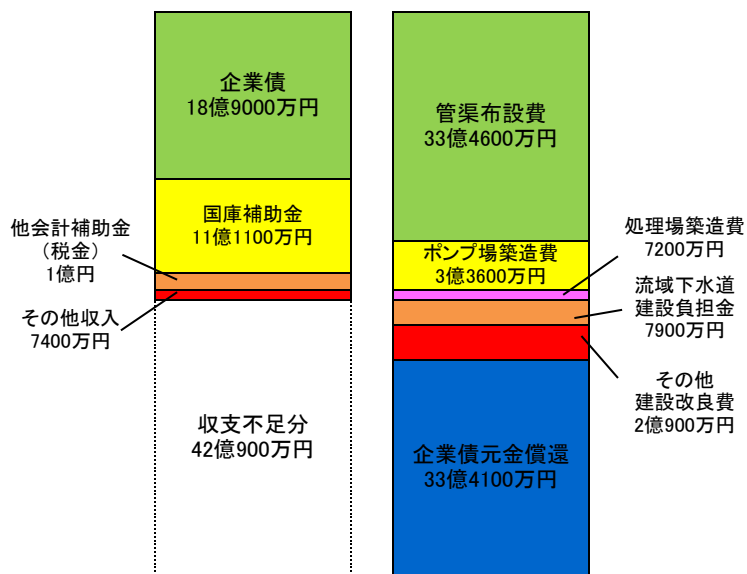
収益的収支

収入 90億7000万円
支出 75億9100万円



資本的収支

収入 31億7500万円
支出 73億8300万円

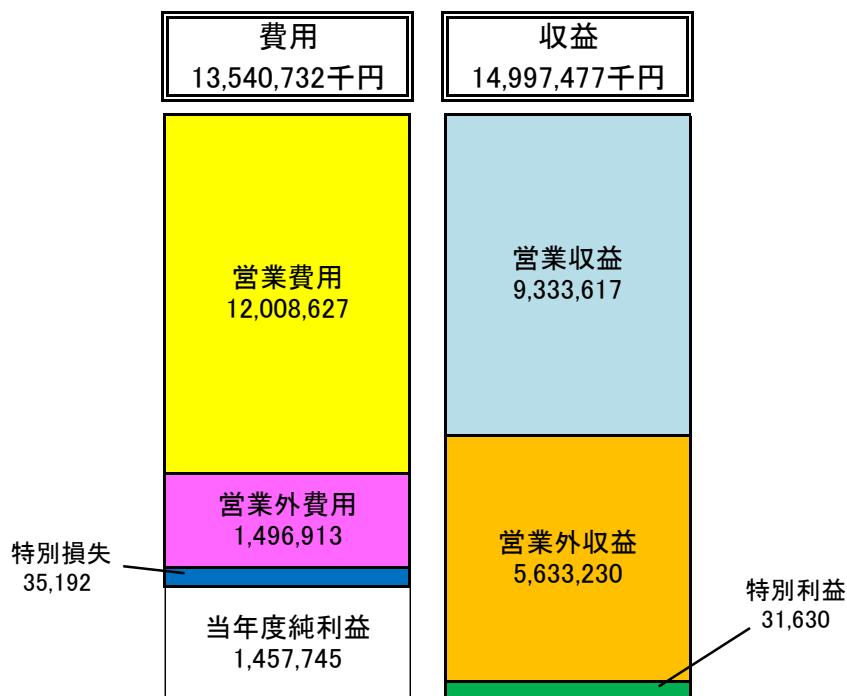


損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単位:千円(税抜)

費用の部		収益の部	
営業費用	12,008,627	営業収益	9,333,617
管渠費	583,979	下水道使用料	4,769,347
ポンプ場費	702,597	負担金	4,142,644
処理場費	700,291	受託事業収益	123,257
都市下水路費	159,470	その他	298,369
業務費	883,306	営業外収益	5,633,230
総係費	230,858	他会計補助金	1,686,516
普及促進費	73,957	長期前受金戻入	3,910,019
受託費	120,361	貸倒引当金戻入額	22,709
減価償却費等	8,553,808	その他	13,986
営業外費用	1,496,913	特別利益	31,630
支払利息	1,147,886	過年度損益修正益	11
その他	349,027	その他特別利益	31,619
特別損失	35,192		
過年度損益修正損	3,813		
その他特別損失	31,379		
費用の部合計	13,540,732	収益の部合計	14,998,477
当年度純利益	1,457,745		
合計	14,998,477	合計	14,998,477

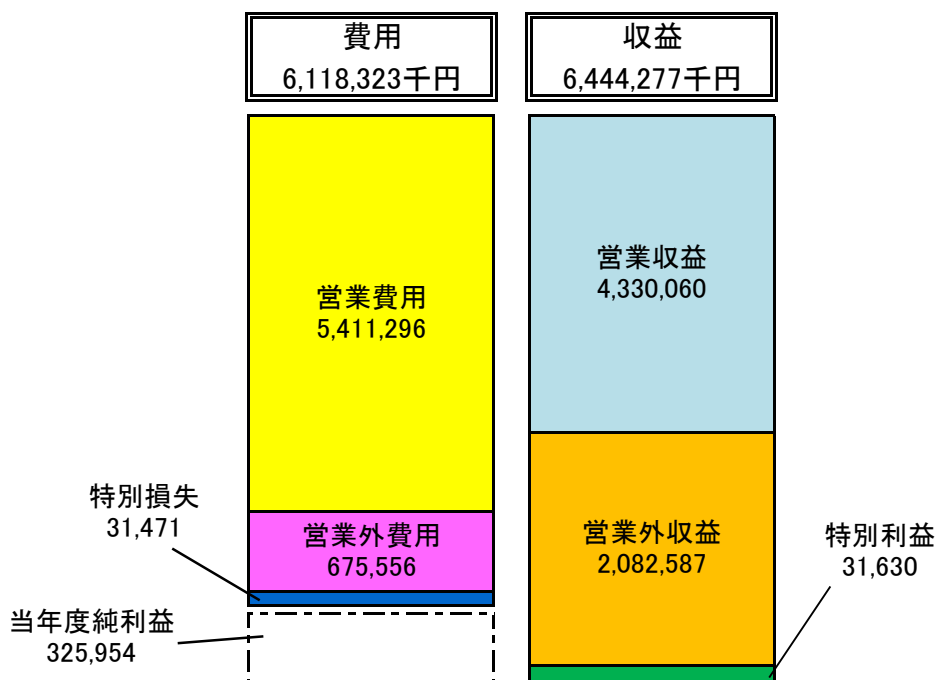


損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、当該年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引くことによって損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

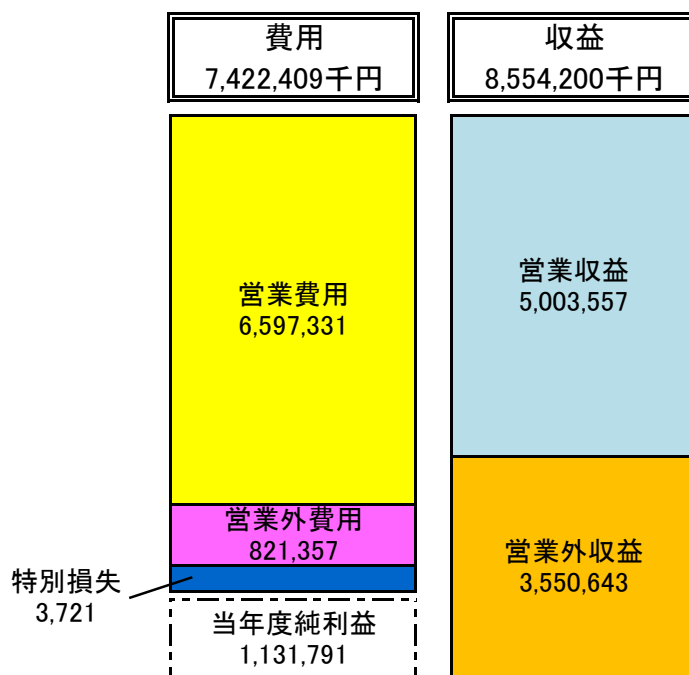
令和3年度は収益が費用を上回り、1,457,745千円の当年度純利益となりました。この利益は下水道の整備に伴い借り入れた企業債の元金償還に充てています。

損益計算書を雨水・汚水別にすると以下の通りです。

雨水



汚水

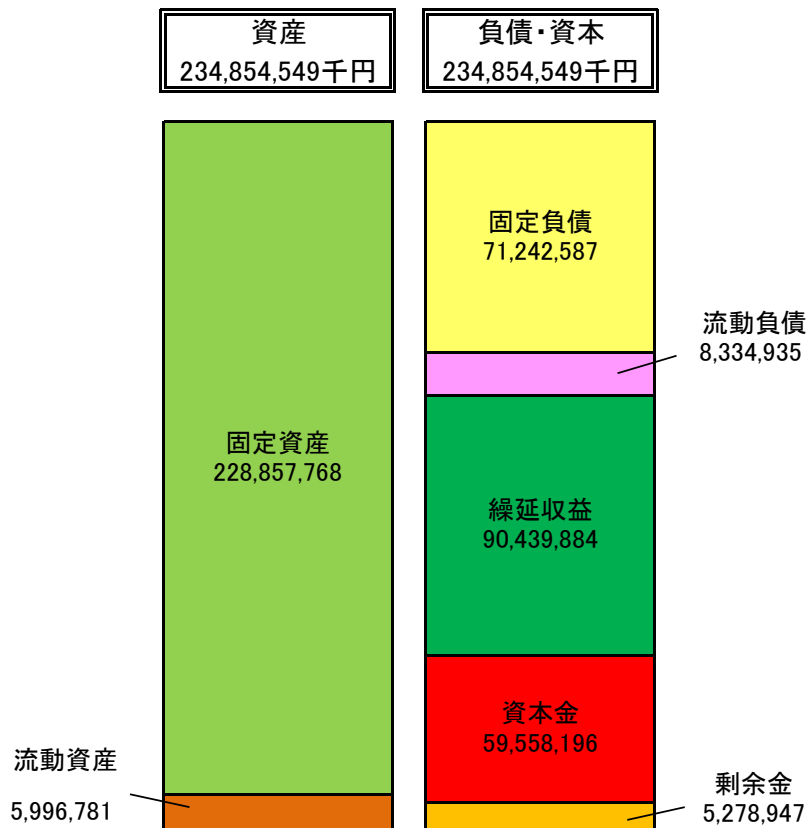


貸借対照表

(令和4年3月31日)

単位:千円(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	228,857,768	固定負債	71,242,587
有形固定資産	221,879,156	企業債	69,873,694
無形固定資産	6,974,598	引当金	1,368,893
投資	4,014	流動負債	8,334,935
流動資産	5,996,781	企業債	5,191,406
現金預金	4,384,156	未払金	3,082,503
未収金	831,925	引当金	48,993
前払金	780,700	その他	12,033
		繰延収益	90,439,884
		長期前受金	90,439,884
		資 本 の 部	
		資本金	59,558,196
		自己資本金	59,558,196
		剰余金	5,278,947
		資本剰余金	2,200,815
		利益剰余金	3,078,132
資産合計	234,854,549	合計	234,854,549



貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

令和4年3月31日現在、資産（正の財産）のうち97%を有形固定資産（土地、建物、構築物等）が占めています。また、その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。